

乗鞍山系・猫岳

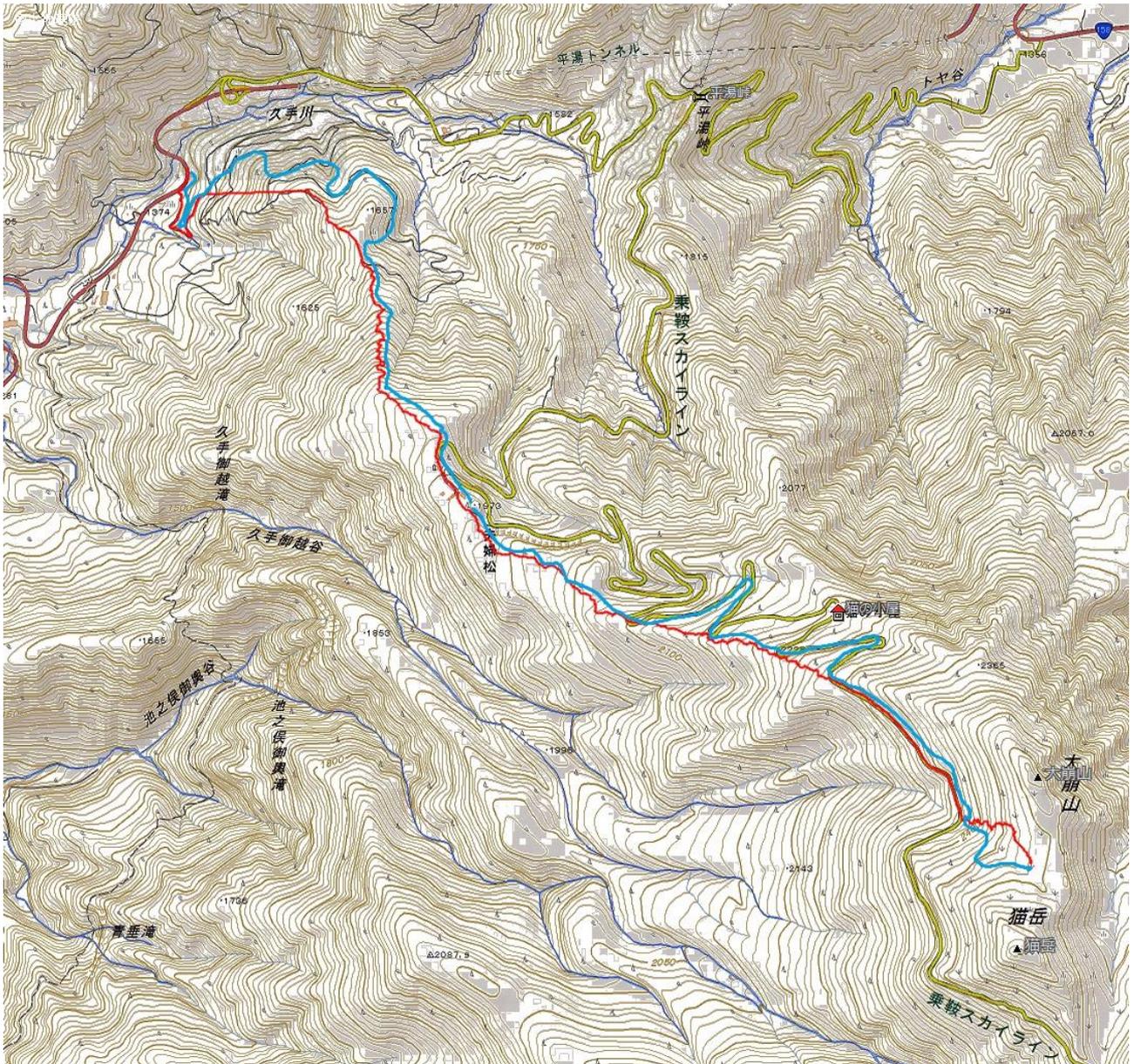
【日程】2017年2月26日

【エリア】乗鞍山系・猫岳

【形態】山スキー

【メンバー】Y, O

【報告】O



(赤が登り、青は下り)

《ルート／タイム》

2月26日

駐車地（8:00）～夫婦松（10:20）～猫岳取付（12:30）～猫岳鞍部（13:30）～ 駐車地（15:20）

《報告》

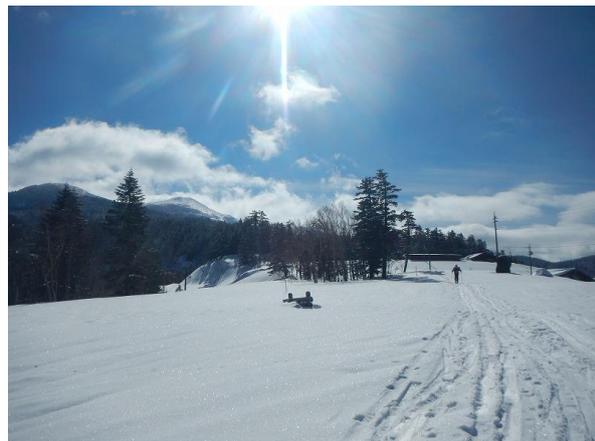
2月26日

昨年の野谷荘司山以来の山スキーとなる。前夜発で高山の道の駅泊。気温は低めで翌朝、雪が車窓を覆っていた。

7時30分に駐車スペース到着。チェーン用の退避場となっているところだが、すでに3～4台のバックカントリー達の車が止まっている。久手牧場と名前の付いた、看板からスキー板を履いて、足を進める。



（左）久手牧場



（右）夫婦松。巨大アンテナが立つ、中央右奥は猫岳

スタートが1374m、猫岳が2581mだから1200mはハイクアップしなければならない。最初の2時間は林道沿いにターンを重ねながら標高を稼いでいく。朝のためか、雪のしまりが良いので急な勾配ではややターンに難儀する。2組程度、先発や後発がいたが、夫婦松まで来る頃には追い抜いてしまった。

夫婦松まで乗り越すと広い平原となる。後ろを振り返れば白山、近くには槍ヶ岳が奥に聳え立っており、すこぶる天候もよい。前方には円錐形の猫岳がみえてきた。ただし、西方からの低気圧の雲が動いているのが見えた。午後からは崩れるのだろうか。肩掛けの小物入れバックからGPSを取り落としてしまい、いつぞやの二の舞になりそうだったが、なんとか近くで落下しているのを発見してほっとする。



(左) 北アルプスの盟主、槍ヶ岳が奥に見える



(右) 猫岳と手前の乗鞍スカイライン

途中でシャリバテになりながらも乗鞍スカイラインのヘアピンをショートカットするかたちで、林道をさらにハイクアップする。パーティ1組が滑走してきた。再びスカイラインに合流し、猫岳鞍部まではスカイライン沿いにシールハイク。ここで頂上付近がガスで隠れたり見えたりの繰り返しとなった。

猫岳鞍部に向かったの取りつきからのハイクアップは途中からカリカリの雪質へと変わっていった。ターンを決めるのも一苦勞である。岩交じりの雪面をなんとか鞍部まで乗り越えると、さらに2人1組のパーティが鞍部でごそごそしている。ビンディングが壊れたとのこと。足先に2穴を嵌めるテックビンディングなのだろう。また、猫岳頂上付近がガスっており、斜面もクラストしているとの情報を頂き、登りはここまでとし、シールを剥がして鞍部から滑走を開始することとする。

取り付きまでの下降は、登りとやや異なる斜面をとる。それほど岩面も少なく、スムーズに滑走できた。また取り付き付近はパウダー状でスキー技術の下手な私でも軽やかにターンを決めることができた。

ここから先は約1時間30分程度だろうか、夫婦松まで林道や林間スキーを楽しみながら滑走する。夫婦松からの雪質は、足を取られやすい固めの雪質。おかげで何度かこけてしまう。久手牧場まではP1657の北東を巻くように斜面を下り、林道へ合流。谷筋を2度ほど下降しながらYさんの見事な地図読みのもと、牧場看板に到着した。

下山後は平湯温泉で一服し、奈良への帰路をとった。